

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	建築音響測定法小委員会		主査名 ：杉江 聡 就任年月 ：2013 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (音環境運営委員会)		委員長名 ：田辺 新一 主査名 ：岡野 利行
設置期間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築音響に関する測定方法について調査および検討を行う。 ・ フランキング成分を把握するための測定方法について検討を行う。 ・ 室内の吸音性能に関する測定方法について検討を行う。 ・ 実騒音を用いた外周壁遮音性能測定方法について検討を行う。 ・13 年度：上記測定方法に関する文献調査や勉強会を経て実験計画の準備を行う。 ・14 年度：前年度の結果をもとに実験計画を行い、共同実験を行う。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：杉江聡 (小林理研) 幹事：平光厚雄 (国総研)、山内崇 (戸田開発セ) 委員：赤尾伸一 (三井住友技セ)、稲留康一 (奥村組技研)、織田慎一 (NHK)、古賀貴士 (鹿島技研)、酒巻文彰 (永田音響設計)、坂本慎一 (東大生研)、竹林健一 (鹿島技研)、田中学 (日総試)、宮島徹 (清水技研)、矢野博夫 (千葉工大)、渡辺充敏 (大林組技研)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. フランキング測定として音響インテンシティ法の適用を目的に、基礎的な実験を行い、音響インテンシティ法の適用範囲について検討した。 2. pu センサを用いて室内のエネルギー密度測定を実施するとともに、pu センサの校正方法の検討を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員会発足時の目標に従い活動を実施しているので、特に問題はない。

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p><u>1. フランキングに関する検討</u> 13年度: 室間等の遮音性能測定におけるフランキング成分の把握方法として、音響インテンシティ法を挙げ、既往研究の文献調査を行った。 14年度: その結果をもとに、局所的な漏洩音の計測を目的として、他の部位からの発生源の影響を把握するために共同実験を実施した。</p> <p><u>2. 室内の吸音性能に関する測定方法の検討</u> 13年度: pu センサを用いた測定に関する既往研究の文献調査を行った。それに加え、pu センサに関する委員間の知識の共有を行った。また、容積の小さい室内における音場性状の把握のために、pu センサを用いた音響エネルギー密度の測定計画について検討した。 14年度: 上記の共同実験を実施した。また、委員所有の数体の pu センサを用いて、校正方法(特に低域における)の検討を行った。</p> <p><u>3. 実騒音を用いた外周壁の遮音性能測定の検討</u> 現場測定に関する計画を行ったが、実施可能な適切な施工物件が見つからず実施しなかった。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価: 小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価: 小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価: 小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価: 小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。